

2021(令和3)年度 社会福祉科 介護福祉専攻 履修系統図

專門的學習成果

1. **倫理的自覚と自己覚知** : **高い倫理性**と社会的使命を自覚するとともに、自己を客観視した上で、**利用者本位の尊厳と自立を支える介護**を実践できる。
2. **介護福祉に関する研究の態度** : **感性を磨き、教養**を身につけるとともに、**介護福祉に関連する現場における中核的な役割を担う介護福祉専門職としての誇りと責任**を持ち、**研究的視点で介護の専門性や自己の介護観を探究し続ける態度が身につき**。
3. **信頼関係を形成するコミュニケーションの実践力** : **受容・共感の態度**を基盤に、利用者の状況に応じた**コミュニケーション**を図り、相互理解を深め、**信頼関係を形成する能力が身につき**。
4. **利用者理解と根拠に基づく介護過程の展開** : **さまざまな背景を持つ利用者の全体像を捉え**、個別の介護ニーズを把握するとともに、**介護福祉に関連する基本的知識と生活支援技術**を身につけた上で、介護過程を展開できる。
5. **地域における介護福祉専門職の役割認識** : 幅広く福祉・保健・医療に対する理解や見識を持ち、地域の福祉的課題解決や地域共生社会における**介護福祉専門職の役割を理解**することができる。
6. **多職種協働によるチームケアの必要性の理解** : 介護福祉に関連する**他職種**の役割を理解・尊重しチームとして協働する必要性を理解できる。
7. **的確な記録・記述** : 介護実践における**情報の共有化の意義**を理解し、**情報を適切にまとめ、報告**することができる。

汎用的学習成果 ①多様な価値観や文化を持つ他者に誠実な関心を寄せ、相手の立場に立って理解した上で思考し、主体性・協調性を持って行動することができる。

②地域・社会の事象に幅広く関心を持ち、多角的な視点で思考し、主体性・協調性を持って行動することができる。

専門的学習成果 1. 高齢者及び障がい者、その家族の生活課題に対するケアの実践において、高い倫理性を持ち、尊厳を保持し自立支援に向けたケアを計画的に実践・評価できる実践力が身につく。また、介護福祉専門職として各自の介護観を明確にし明言できる。

- (2020まで)
2. 地域の福祉の課題解決や地域共生社会における介護福祉専門職の役割について、幅広く福祉・保健・医療に対する理解や見識を持った上で考えることができる。またその中で多職種協働についても考えることができる。
 3. 介護福祉に関連する現場における中核的な役割を担う介護福祉専門職としての誇りと責任を持ち、研鑽し続ける態度が身につく。

[illegible]